

1に関しては、当日含め実に30名以上のスタッフが関わってくれており、またそのほとんどが学生であり、達成できたと考えます。逆に学生だけではなく、適度に社会人も入っていたため、社会人としてのスキルの提供や学生だからこそその機動力が発揮されるなどお互いのプラスの部分が活かされたと思います。

2に関しては、旅 days 全ての企画での目標値であり、当日雨という天気にも関わらず参加総数延2,950名ということで人数においては大幅に達成ができました。また参加対象も、おおよそこちらが想定していた若い年齢層の方々が来てくれていました。

3に関しては、これからの課題にはなりますが、今年度実行委員メンバーの中でも既に10名ほどが参加継続の表明をしてくれており、卒業をする4回生に変わり運営を担ってもらえる期待をしています。また社会人になる学生も、数年後にまた戻って来られるような組織体制にしていきたいと思っています。

連携という意味では、それぞれのゲストとのつながりはもちろん、東京で旅に関わる学生団体とのつながりによる広報の協力であったり、観光庁からも視察にお越しいただき、ゲストとして日本全体の若者の観光に関するお話しもしていただきました。日本全体そして都心部での若者の動向やニーズを把握しつつ、京都という地方都市で若者に対して何をしたいのか、何が必要なのか、そのあたりを考えて次の企画につなげていきたいと思っています。

反面課題としては、今回きっちりとした組織運営となっておらず、メンバーによっても作業量の偏りがあり、決定のプロセスも曖昧な部分が多く、結果詳細まで詰まっていなかった中で当日を迎えてしまいその場しのぎをした場面も数多くみられました。あわせて今後は資金面でも助成金に頼らない運営方法を確立していく必要があると考えます。

しかしながら4カ月という非常に短い準備期間の中で企画が実施できたこと、これについてはメンバー一同達成感を持っており、次につながる良い一歩になったと考えています。



・若者交流サロン「ゆめの湯」の開催

日時 平成25年1月29日(火) 19時から21時30分まで

場所 ポジティブ・アース・ネイチャーズ・スクール) 二条事務所 創筆庵
(京都市中京区西ノ京西月光町18-2-1)

講師 中村 彰利 氏 (京都YMCA ディレクター)

青少年による地域活動への参画と、若者パワーによる地域の活性化の促進や地域課題の解決を進めるために、青少年団体の活動促進、社会に一步踏み出せない青少年に参加のきっかけの提供が必要です。そこで、活動に行き詰まっていたり、課題を抱えている青少年団体に対して、活動の参考となるテーマを設定した交流サロンを、これまでから定期的に開催しています。

今回は、ボランティアスタッフと、どのように関わり、育てていくのか。ボランティアを専門的にコーディネートしている京都YMCAの中村彰利さんの話を聞きました。第2部は、自由な交流の場を設定し、参加者どうしが、様々な分野の活動の良い取り組みやアイデアを共有しました。